

1 . 災害ボランティアセンター

	都道府県	市区町村	正式名称	災害名	活動期間	
46	新潟県	栃尾市	栃尾市災害ボランティアセンター	新潟県中越地震	1 盃 / 0u 曇志 u	GWUu WQ

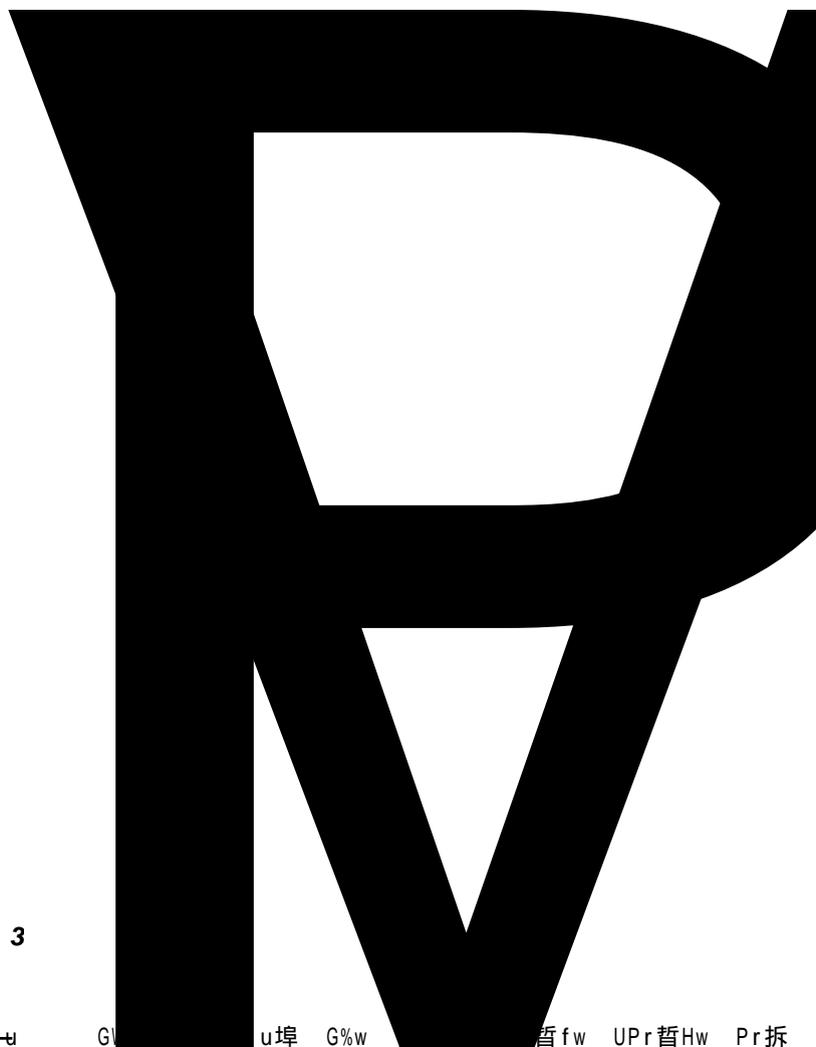
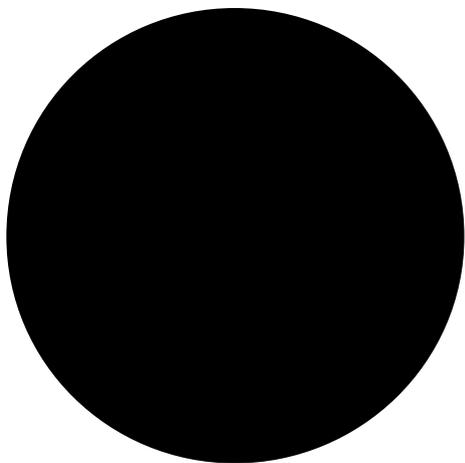


図7 設置日数からみたボランティア活動人数（地震）

センターで受け付けたボランティアの延べ人数

以下、センターを設置した理由について、自由記載をまとめた。

- ・ 災害の状況を調査する中で必要と判断したため。（15回答）
- ・ 被害地が広範囲となり、行政との協議の上、自主的に設置。（3回答）
- ・ 日常業務対応では対応できない。災害弱者への復興支援の必要性があった。（3回答）
- ・ 社会福祉^ド

予測されるため、地元を中心としたボランティア活動をスムーズに行うことのできるシステム作りのため

設置時における専従職員 6 !PP y !PP !Pおける

閉鎖時におけるセンターのスタッフ数は、「1～9人」が一番多く、設置時に近い傾向がある。

図16 閉鎖時のボランティアセンタースタッフ（専従スタッフとボランティアスタッフの合計）

は、「ボランティアセンタースタッフ専従スタッフとボランティアスタッフの合計」

图 1 8

- ・ 水害の片づけ、掃除、ニーズの聞き取り。
 - ・ 災害ごみの分別・公共場所の駐車場の清掃。
 - ・ 災害ごみの分別、泥の搬出、家具の搬出、不要品の搬出。
 - ・ 床上浸水など被災住宅の土砂取り除き清掃など。
 - ・ 家具の等の搬出入、土砂搬出、家屋の清掃、災害ごみの分別。
 - ・ 土砂撤去、床下泥よけ、家具運び出し、消毒。
 - ・ 土砂だし、家財道具の運び出し、 消毒。
- ・ 土砂撤去・家財土砂撤去 分別・消毒・清掃。
- ・

(2) 資金について

問 2 - 1 災害ボランティアセンターの「

1 勺/Q" } /SZン]% 当2eλ P

-

問

☒ 3 ☒ ☒ ☒ 3 ☒ ☒

3 3 1

(3) 設置・運営に関するマニュアルについて

長岡市災害

- ・ 災害ボランティア活動の知識、経験を有する団体とのネットワーク
- ・ 県内外からスキルからスキルのあるボランティアやNPO団体、社会福祉協議会職員の支援を早くから受け、運営の仕方も毎日深夜までのミーティングで、検討され、良い物が出来上がっていった。特に、JC（青年会議所）の方々の支援で大きな助けとなった。

ボランティアセンターの立ち上げには、経験を有する82Q u

過去の災害の経験が活

して頂き、また、他の市町村での災害発生時には現地活動が出来る体制づくりが出来るよう、職員、市民が日頃から防災意識を持てるようにしていきたい持

えての訓練が行われていますが、社会福祉協議会としては災害後の復旧に向けての取り組みをシミュレーション訓練。

- これまで、防災訓練に社会福祉協議会は入っていなかった。 36

に打ち合わせをし、確認するべきであった。

- ・ 地震に限らず災害に対する備えや意識希薄だったため、すべての面で大変混乱した状況におかれた。今回の経験を機に、行政や各関係機関・団体はもとより、住民からも災害に対する意識やそれに備える組織やルール作りを連携のもとに対した経験 證 因 境 今 職 政。 社